



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

【偕老同穴】(かいろうどうけつ)
夫婦仲の良い幸福な生活のたとえ



Lend a Hand

手を貸そう

2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ

会員増強拡大月間

第801回 平成15年 8月20日(水)

〔本日のプログラム〕

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「手に手がないで」
3. 四つのテスト唱和
4. 食 事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 委員会報告
8. 会員卓話 岩下廣美君
8. 点 鐘

炉辺会合

- 次回予告
- ★ 8月27日(水)
フォーラム
(会員増強月間に
あたって)
- ★ 9月3日(水)
会員卓話
佐藤高元君
9月セレモニー
理事・役員会

佐土原ロータリークラブ
例会日 毎週水曜日(12:30~13:30) 会長 中武 幹雄
例会場 石崎浜荘 ☎0985-73-1913 副会長 林 厚雄
事務局 宮崎県佐土原町大字下那珂3887-17 幹事 梶田與之助
☎880-0212 会計 岩切 正司
TEL及びFAX 0985-73-7170 会報委員長 池田 仁志

第800回例会記録

(2003. 8. 6)

☆会長の時間

会長 中武幹雄君

皆さん今日は。本日は第800回の記念すべき例会です。先週お願いしましたように、記念のハッピーをお願い致します。今日お出で頂きましたビジターをご紹介致します。西都RCの中武兵一郎君です。ようこそ! どうぞごゆっくりしていって下さい。

8月2日(土)に鹿児島市で社会奉仕委員長会議が開催され、委員長の佐藤君がお忙しい中、出席して頂きまして、大変ご苦労様でございました。

8月3日(日)は私以下4名(垂水君、梶田君、林君、藤堂君)で当事務所の整理整頓に参りました。ケースの前のカーテンが防災法で指摘されたとの事で、取り替えことになった様ですので、ついでに周囲の書類の整理を致しました。これからは支配人室に入らなくても、こちら側から関係の物が取り出せるようになりました。

ご報告と共に協力頂きました、4名の方々に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

8月20日(水)の夜は炉辺会議となっておりますが、ちょうどこの日の夜に中部部分区の会長・幹事会がありますので、翌週の8月27日(水)に変更させて頂きます。Bグループの方々、よろしくお願ひ致します。

あと二日後に暦の上では立秋になります。(秋の気が始めて立つ、残暑は厳しく、朝夕は涼しくなる季節となります) しかし、宮崎はこれから夏が始まり、

朝夕が涼しくなるのはまだまだ先のようです。暑いと水やビール等を飲む機会が多くなります。ビールの飲みすぎには気をつけて、暑い夏を乗り切りましょう。

先週は親睦と奉仕について述べさせて頂きましたが、今日は、今月のテーマ「会員増強拡大月間」でありますので、それにちなんだ事をお話し致します。

ロータリー用語に、拡大(Extension)(直訳 繰縫)と増強(Development)(直訳 繰・開発)という語があります。拡大とは、ガバナーの責任の下に、地区内にクラブの数を増やすことであり、増強とは、会長の下に、クラブ内で会員の数を増やす事であると言われています。そこでこれからお話しするのは、『ロータリアンを目指して』の記述を土肥浩右氏が翻訳した書の中から、抜粋した文例を紹介します。

“世の中には大きく分けて、3種類のタイプの人間がいると言われています。

①物事を実行する人 ②他人が実行しているのを眺めている人 ③何が実行されているか理解することが出来ない人

ロータリアンは勿論第①のグループに属する人でなければなりません。ロータリアンは日頃何をすれば良いのでしょうか? 私達は、人々の心に手を差し伸べながら、行動しなければなりません。

ロータリーは歴代、世の中の人々の心に「信頼・友愛・誠実」をもたらしてきました。宗教や政治や人種を越え、より次元の高い世界における一大勢力であることを忘れてはならないと思います。”

これから、私達はどのようなロータリーであるべきか? 何を推進するのか? 得体の知れない群衆への奉仕なのか? 文化的専門的な能力により、価値と効率に貢献できる人々への奉仕でしょうか?

ロータリーにおける質の向上は、私達がこの問題にいかにうまく答えられるかにかかっていると思います。ロータリアンは会員全員がリーダーでなければなりません。しかし、ロータリアンがロータリーについて何をどの位、知っているかと言う事と今、何を目的に活動しているかという未知の要素があります。

それらの事を自分自身に問うてみた時、私には「是」と答える自信がありません。綱領に凝縮して謳ってあります、これこそが、ロータリーが目指す目的かな、と自分なりに答えを出したりしております。

綱領は時代に沿って手を加えられて来ています。現在の綱領は1951年、アトランティック・シティ大会で発表され、書き換えられたものが使われております。ちょっと話が外れましたので、元に戻します。それではロータリーに何故入会したのか、又、するのか、それは複雑化する現代社会で最も基本的な人間のニーズの一つである友人との親睦を提供している事。今一つの理由は、ビジネス上の発展です。ビジネス社会のネットワークを網羅している事。ロータリアンはお互いに助け合い、団体として他者とも助け合います。それに、リーダーシップを養成する大学教育の場の様な所でもあります。又、社交的な活動の場もあり、楽しみもあります。そしてこの様に人の前で話す機会を与えてもらえます。すなわち練習の場ですね。そんな素晴らしい所がロータリーではないでしょうか。

私達ロータリアンは、これから新しい仲間を増やす為に多くの方々に声を掛け、例会に招待し、雰囲気を感じてもらいましょう。又、炉辺会議に是非、推薦出来る方を連れてきて欲しいのです。今一度

貴方の周辺を見回して下さい。本年度の目標、30名の大台を達成致しましょう。皆さん之力を、手を、貸して下さい。

今日の例会後、理事・役員会を催します。よろしくお願ひ致します。

☆幹事報告

幹事　堀田　與之助　君

1. 例会変更通知

①8月22日（金）の例会は納涼例会のため、時間 18:30
場所 ホル浜荘 □ に変更
宮崎西 RC

②8月26日（火）の例会は早朝例会のため、時間 6:30~
場所 相平公園広場 □ に変更
小林中央 RC

2. ガバナー事務所夏季休暇通知

8月13日（水）～8月15日（金）迄、夏期休暇になります。尚、緊急の連絡は地区幹事（TEL0986-24-0160）までに。

野菜のお話

【オクラ】について

オクラは南国生まれです。カルシウム、鉄分、ビタミンCの多い野菜です。特に腸の蠕動作用を促し、便秘や下痢に効果のある整腸野菜です。茹でてもビタミンCが減少しにくいのですが、さっと茹でて、料理のプラス一品として加え、豊かな食事にしましょう。

3. 鹿児島県北部豪雨災害義援金は8月12日迄と言うことですので、1人当たり￥500をクラブで立て替えて送金しておきます。

☆出席報告

委員長 後藤明夫君

会員数	28名
例会出席者	20名
出席率	71%
メーティング者数	4名
修正出席率	86%
欠席者名	鶴見 達也

☆会員卓話

水浦達博君

プログラムを確認しておりませんで、出席して始めて自分が卓話者であることを知りました。話題を用意しておりませんので、今回は1議員の立場から、皆様も非常に関心を寄せられている、合併問題について、個人としての見解を述べさせて頂きます。地域住民の代表である議員としては中々本音が言えない部分もありますが…合併問題では先頃、各地区でアンケートを取り、その結果を見てみると、昨年度、一ツ瀬川流域と宮崎市との比は半々でありましたが、今回は圧倒的に宮崎市との合併を望む方が多くなっておりました。私としては若干がっかり…という所であります。私は当初(2輪)から一貫して合併するのであれば、当然一ツ瀬川流域と行うべきと思っておりましたので、これは納得の行かない結果と言う所なのです。合併問題と言うと上田島地区は今を瀕死の事、45年前、広瀬地区との合併で憤りと空しさを味わった経緯があります。裏切りや色々な形の怨念があり、45年経った今でもまだそれを引きずっていると言う事を青年時代から、聞かされておりました。

宮崎市と合併を望まれる方は佐土原町に住まわれてまだ新しい方が多かったと思いますので、本当の意味での合併をまだ理解

しておられない方達ではないかと思っております。宮崎市と合併と云うことになれば、簡単に云って吸収合併であります。佐土原町の自治もなくなります。役場も出先機関に将来はなって行くのではないかと思います。本当の意味での住民サービスが出来得るか疑問になります。又、一ツ瀬川流域も御存知の通り、財政的には非常に苦しいものがあります。佐土原町はまだまだ良いのですが、他の市町村は中々厳しい財政状況の様です。若しこの合併が実現されてもバラ色とは言い難いのですが。先日、一ツ瀬川流域の合併が実現されれば、役場を佐土原町に置いても良いと西都市が譲って来られたとの記事を新聞で読みました。西都市としては当町に是非合併して貰いたいと云うのが本音ではないかと思います。私も1議員として今後、行動を起こさないといけないと思い、一ツ瀬川流域の若手、新人議員で【一ツ瀬会】という会を先日結成しました。合併に対して勉強会やそして行動を起こそうと、メンバー8名で確認し合いました。8名は全体の約1割程度の人数ですが今後何らかの行動を起こして参ります。

例え、この合併は無くなってしまって一ツ瀬川流域は歴史的にも文化的にも、大切な水問題にしても、今後考えて行かなければならない、町作りをしなければならない現実があると思います。

合併の話はこの辺で終わりまして話題を替えます。この前マスコミ(毎日、読売新聞、NHK等で取材して貰いました)でご覧になられたと思いますが、佐土原歌舞伎についてお話をします。

この佐土原歌舞伎は「佐土原駅21の会」の会長串間氏が発起人で、現在、主に上田島地区の小学生が月に2回練習して、この前発表会がありました、半年間の練習の素晴らしい成果を見せてくださいました。もともと佐土原農村歌舞伎は上田島地区にあったのですが、5、60年前途絶えてしまい、現在は日之影町の歌舞伎保存会の方々から指導を受けて、真剣に熱心に練習を積んでおります。今後、皆様方の色々なイベントに呼んで頂き、多くの人々にこの子供達の舞を見て頂きたいと思っております。取り留めの無い話になりましたが、これにて私の話を終わります